

広い視野で作品制作

志学館と
都市大塩尻 単位互換の成果披露

東京都立大学塩尻高校 最終の授業が27日、東京と塩尻志学館高校の生徒 都市大塩尻高で開かれ、相手校で授業を受けた。志学館の3年生7人が単位が認定される「学が学んできた」コンピュ校間連携事業」の本年度



コンピューターでデザインした
作品を発表する生徒

サイイン(CGD)の成
果を発表した。

生徒はロック音楽に合
わせて作った映像作品や
平和と戦争の両面をアニ
メ風のイラストで描いた
作品を披露し、それぞれ
に込めた思いを伝えた。
授業は昨年4月に始ま
り、同校非常勤講師のク
ラフィックデザイナー・
宮原純さんに指導を受
け、イラストや立体作成
の各種専用ソフトの活用
方法、デザインにおける
視点を学んできた。清沢
優季さん(18)は「先生
の話は深く、さまざまな
見方があると勉強になっ
た。積極的に取り組め

た」と話していた。

閉講式では、東京都立
大塩尻高の河西靖男校長
が「思いを表現するうえ
で感性は大事。素晴らしい
作品だった」とたた
え、修了証を1人ずつに
手渡した。

単位互換が可能な連携
事業は平成16年度から続
き、両校の生徒が行き来
している。東京都立大塩
尻高の生徒5人もこのほ
ど、農業関連の授業を終
了した。(瀬川智子)

無断転載禁止

著作権は市民タイムスに帰属します

転載承認済

東京都立大学グループ
学校法人 **五島育英会**